

(第1回) 契約変更の内容

契 約 変 更 年 月 日	令和 7 年 3 月 1 3 日
契 約 業 者 名	(株) 建設環境研究所
契 約 業 者 の 住 所	豊島区東池袋 2-23-2
業 務 の 名 称	R 6 千葉国道管内環境調査G 1 5 業務
業 務 場 所	自) 千葉県成田市桜田地先 至) 千葉県成田市所地先
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
業 務 概 要	1. 数量の変更 2. 履行期間の変更
履 行 期 間 (自)	令和 6 年 8 月 3 1 日
履 行 期 間 (至)	令和 7 年 5 月 3 0 日
変 更 前 の 契 約 金 額	2 2, 0 0 0, 0 0 0 円 (税込み)
変 更 金 額	+ 6, 6 4 4, 0 0 0 円 (税込み)
変 更 後 の 契 約 金 額	2 8, 6 4 4, 0 0 0 円 (税込み)
変 更 理 由	本業務は、令和6年8月30日付で、株式会社建設環境研究所と契約を締結し、現在鋭意履行中であるが、下記の理由により契約変更するものとする。 記 1. 現地調査（動物調査） 動物調査において、既存資料を基に重要な種の抽出を行った結果、調査対象地域に猛禽類、フクロウ類及び早春季のみに見られる昆虫類の分布が確認されたため、猛禽類調査、鳥類夜間調査、昆虫類の早春季調査を追加する。 2. 現地調査（植物調査） 植物調査において、既存資料を基に重要な種の抽出を行った結果、調査対象地域に早春季のみに見られる植物の分布が確認されたため、植物の早春季調査を追加する。 また、植物相調査において、冬季には、陸生植物が枯れ、確認が困難であるため、植物相調査の冬季調査を削除する。 2 環境影響評価項目・手法の選定

3. 環境影響評価項目・手法の選定

事業認定申請資料の作成に当たって、事業特性・地域特性を踏まえて環境影響評価の

項目及び手法を過不足なく選定し、選定・非選定の根拠となる資料を整理する必要がある

あるため、環境影響評価項目・手法の選定を追加する

4. 有識者ヒアリング

環境影響の検討に当たり、動物・植物の項目については動植物の生態を踏まえて調査

手法等を定める必要があり、地域に精通した学識経験者等の専門家から技術的な指導

・助言を受けるため、有識者ヒアリングを追加する。

5. 履行期間

上記の増工に伴い、履行期間を60日延長し令和7年5月30日までとする。